

	<p>科学技術コーディネーター</p>	<p>岡田 庄治</p>
	<p>本学の産官学連携活動は、私の着任時に比べ、現在ではその連携実績件数は飛躍的に増加し、連携活動による受託研究費・共同研究費・奨学寄付金の受け入れは約4倍程度の伸びを見せました。2020年度からは学内に研究推進部が設置され、科学技術コーディネーターも二人体制となったことで、効率の良い産官学連携のマッチング活動、知的財産マネジメント活動業務が可能となりました。</p> <p>これからも、企業と大学での業務経験を活かし、「大学視点と企業視点」・「研究視点とビジネス視点」を持ちながら、10学部を有する総合大学ならではの文理融合を目指した産官学連携活動の実現に注力していきます。そして、国・地方自治体・企業といったステークホルダーの方々との連携活動を通じた本学の研究シーズの社会実装によって、今まで以上に社会貢献を果たしていきたいと思っております。</p>	

略 歴

パナソニック株式会社エコソリューションズ社（在籍時）において、研究開発部門・知財部門の責任者として開発業務を担当

※2015年度より現職に着任

<p>科学技術コーディネーター</p>	<p>内山 和子</p>	
<p>本学の研究成果を広く社会に公表し、活用していただくための活動として、産官学連携活動を希望する研究者に対し、研究シーズの内容のヒアリングを通じた連携可能性の調査、JSTが主催する新技術説明会をはじめとした研究シーズの公開イベント等の調整、受託・共同研究等の開始時に必要となる契約締結業務を行っています。本学は総合大学として多くの研究シーズを有しており、そのシーズを広く公開することにより、国・地方自治体・企業等と連携できる場を作りたいと思っております。</p> <p>コーディネーターは本学研究者と社会とをつなぐ架け橋です。「技術課題があり、本学の研究シーズが解決の役に立ちそうだ!」など、ご興味をお持ちいただいたらお気軽にご連絡・ご相談ください。</p>		

略 歴

パナソニックエコシステムズ株式会社法務部門の責任者として契約・コンプライアンス業務を担当

※2019年度より現職に着任